

一リマセ医局

中野坂 00005

03-3810-0205 メール受取番号

会員登録・会員登録手順

会員登録

2000年度 第二内科学教室による各課題

B l o c k 3 テュートリアル課題

題材：B子さん（女性、35歳）
主訴：左側頭部痛、嘔吐
既往歴：アレルギー性鼻炎の既往歴
現病歴：左側頭部痛を主訴として、近々、嘔吐を伴う頭痛が出現。
検査所見：頭部CTにて脳梗塞の所見。
治療方針：頭痛の緩和と脳梗塞に対する治療。

課題番号 2

題材：B子さん（女性、35歳）
主訴：左側頭部痛、嘔吐
既往歴：アレルギー性鼻炎の既往歴
現病歴：左側頭部痛を主訴として、近々、嘔吐を伴う頭痛が出現。
検査所見：頭部CTにて脳梗塞の所見。
治療方針：頭痛の緩和と脳梗塞に対する治療。



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。
Copyright © 東京女子医科大学第二内科学教室

TWMU B l o c k 3 第二内科学教室 高野加寿恵

シート1

くあじ表段

シート1：Bさんは23歳の看護婦である。

最近、どうも疲れやすく、体重もこの2—3カ月間に3kg減少した。

「抽出を期待する事項」

疲れやすい。(易疲労感)

体重減少

他の二件は既往歴で記載する所であるが、内臓疾患は記載していない。

くあじ表段

検査成績

身分甲：頭脳筋肉系筋肉内：頭部、下肢、口

検査成績：アミノ酸尿：セロトニン

糞便検査：糞便潜血

(1) 初回：(1) 腹痛(日0日4)、糞便：糞便

(日8日4)、尿検査：尿：尿

(日8日4)、出産歴：出産歴

(日0日4) (初回) 意識：意識

検査成績：尿：尿

検査成績：糞便：糞便

⑤

③

シート 2

夜勤明けの日に、あまりにも疲れやすいので、内科を受診したところ、初診医に脈がはやく、手指に振戦があること、頸部を触診して甲状腺が腫大していること、さらに、甲状腺部に聴診器をあてて、血管雑音が聞こえることを指摘された。そして、内分泌系の病気が考えられるので、血液検査や心電図検査をして、次回の来院日に、その結果をみてから、診断や治療方針について話しましょうといわれた。

「抽出を期待する事項」

- 脈が速い（頻脈）、
- 手指の振戦
- 甲状腺が腫大→甲状腺腫、
- 血液検査
- 心電図

シート 3

数日後、結果を聞きにいったところ、甲状腺ホルモンが血液中に
多すぎるといわれた。さらに、このような病態は大きく分けて 2つあるといわれた。

「抽出を期待する事項」

甲状腺ホルモン

甲状腺ホルモンの多すぎるという 2つの病態

シート 4

内科医は、検査データを診て、Bさんの病気はバセドウ病であること、自己免疫疾患ではあるが、抗甲状腺剤を内服していけば、ひとりでに治まつてくる病気なのでそれほど心配する必要はないこと、ただし、少なくとも1～2年間は毎日、抗甲状腺剤を内服するようにといわれた。また、飲み始めの時には、抗甲状腺剤は副作用を起こすこともあるので、発熱や咽頭痛があったら、とりあえず薬を飲むのを止めて、受診するようにと言われ、処方箋と一緒に「抗甲状腺剤の注意書き」を手渡された。

「抽出を期待する事項」

バセドウ病

自己免疫疾患

抗甲状腺剤

資料4：メルカゾールの効能書き（現物）

資料5：抗甲状腺剤の初回投与時に当科外来で手渡している注意書き（現物）

シート 5

さらに、念のために甲状腺エコー戸カラードップラー検査をしておきましょうといわれた。検査中、ドクターより、「この病気の特徴がよく出ていますね」といわれた。

「抽出を期待する事項」
甲状腺エコー
資料 6：バセドウ病患者の甲状腺のエコー
甲状腺カラードップラー
資料 7：甲状腺疾患のカラードップラー写真。

幸いなことに、副作用は何も起こらず、2ヵ月後には甲状腺機能は正常となった。しかし、待合室でまっていると、同じ時期に治療を開始された患者の一人は、抗甲状腺剤でひどい薬疹がおこり、放射線療法か外科的な治療法を勧められているとのことであった。また、遠く離れて座っている患者さんは、眼が大きく飛び出している様子であった。また、①隣に座った話好きのおばさんは、自分は20年前にバセドウ病で¹³¹I治療を受けたけれども、最近は、甲状腺ホルモンが足らなくなり、甲状腺ホルモン剤をもらいに通院しているとのことであった。

「抽出を期待する事項」

抗甲状腺剤の副作用

薬疹（アレルギー）

放射線（¹³¹I）療法

外科的療法

甲状腺機能低下症

甲状腺ホルモン剤

甲状腺検査の抽出（裏表紙一覧）

甲状腺検査の検査項目

甲状腺検査の検査目的

甲状腺検査の検査結果

甲状腺検査の検査結果